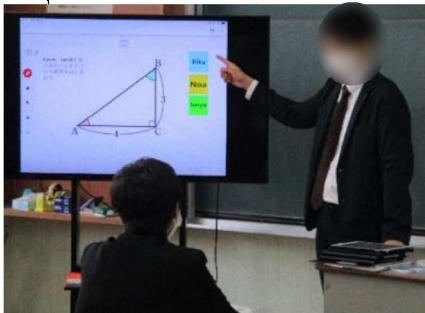
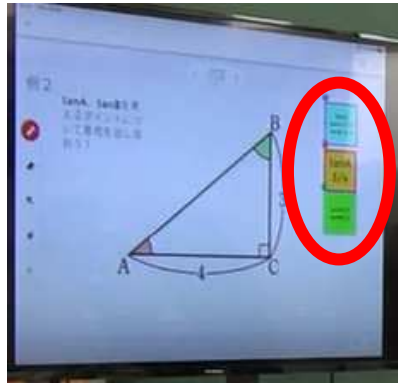


教材・支援機器活用実践事例【ICT】

意見を出し合い、多様な考えを共有するための ICT 活用 「アプリ『Jamboard』を使った意見の共有」

子どもについて	所属・学年	特別支援学校・高等部1年
	障がい名等	病弱
	子どもの実態 (学習上又は生活上の困難さ等)	<ul style="list-style-type: none"> 病状を理由とした欠席・欠課が頻繁な生徒がいる。 精神状態や脳機能の影響により、板書や問題文の視写が難しい生徒がいる。 授業中に声を出して発言することへの負担感が出る場合がある。
授業について (教材・教具を使用した授業や指導場面)	教科名等	数学 I
	単元(題材)名	単元名「三角比」
	単元(題材)の概要	<ul style="list-style-type: none"> 三角比の意味やその基本的な性質について理解し、三角比を用いた計量の考えの有用性を認識するとともに、それらを事象の考察に活用できるようにする。
教材・教具 支援機器について	教材・教具 支援機器	デジタルホワイトボードアプリ「Jamboard」  
	ねらい・工夫点	〈ねらい〉 ○ 生徒間で意見を相互に出し合い、多様な考えを共有することができるようにする。 〈工夫点〉 <ul style="list-style-type: none"> Jamboard を、大型モニターを使用して提示するとともに、手元のタブレット(スマートフォン)にも表示させ、意見をふせんに書くことでも発表できるようにした。 使用した資料は Google Classroom で共有し、後からでも振り返りができるようにした。
	材料・作成方法等	タブレット端末、 Google Jamboard
子どもの変容や評価		<ul style="list-style-type: none"> 発言しづらい生徒も自分の考えを書き込むことでスムーズに発表することができた。 欠席した生徒が提示資料を観たり、自分自身でも資料をあとで見直したりすることができた。

(令和3年度)